



通津中学校

地域の教育力が 子供の多様な学びを演出！

文部科学省は、次期教育振興基本計画について（答申）〈令和5年3月〉の中で、「生涯にわたって学び続ける学習者の育成」を取り上げています。その中で、「学校教育と社会教育が連携することも重要であり、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、学校と地域住民が連携・協働することで、子供たちの学びの場を学校から地域社会に広げ、次世代の社会の担い手としての成長を支えていくことが求められる。」と述べています。

本号では、地域の公民館共催クラブ，市民活動団体，個人が学校に出向き，平素学習したことを生かして，生徒に楽しく有意義な活動を提供している通津中学校の実践を紹介します。

【7/11(火)13:30～16:00の実施】

＜地域住民＞ 12 講座…33 名参加

- ・ 学校運営協議会会長(井川さん)，地域学校協働活動推進員(竹原さん)，地域協育ネットコーディネーター(廣本さん)の3人が，講師への依頼や連絡調整

＜学校＞ 全校生徒 114 名が参加

- ・ 総合学習としての位置づけ，受講生徒の人数調整
- ・ 担当教諭と講師が細かい連絡調整

全体会…司会進行は生徒

学運協会長と生徒代表が挨拶

生け花



折り染め

思ったようなきれいな模様になってとても嬉しいです。 <中学生>

詩吟

茶道

日本舞踊

手話

箏

ひょうたん

地域交流会は4年ぶりの実施です。私を含め教職員はだれも経験がありません。しかし、地域の方がよくご存じで、手際よく準備や指導をしてくださり、生徒は幸せでした。とてもありがたかったです。 <校長>

日本民謡

百人一首

ラジコン

フラダンス



地域の方から「今年はやらないの?」という声があがりました。学びの成果を子供と共有したいという願いが実現できました。 <地域学校協働活動推進員>

地域の方々の優しく丁寧で粘り強い教で、子供たちも笑顔となり、わかる・できる喜びを味わっていました。講師へのあこがれも抱いたようです。学びに広がりができていました。

